

ヒットブランド の源泉

河村電器産業株式会社



河村電器産業株式会社 概要

本社所在地：愛知県瀬戸市暁町3番86

創立：1919年（大正8年）8月

取締役社長：水野一隆

従業員数：1892名（平成29年3月31日現在）

事業内容：産業用、民生用電気機器製造販売

H P：http://www.kawamura.co.jp/

沿革：

1919年：河村鈴吉の個人経営による河村製陶所として創業

1929年：合資会社河村商店設立。カットアウトスイッチ、
カウンターウェイトなどの屋内配線器具の製造を開始

1945年：終戦と同時に製造部門を再開し「復興は先ず電気より」
のスローガンを掲げ、本格的に電気配線器具の製造・
販売を開始

1960年：業界に先駆けてホーム分電盤を開発・販売

1967年：会社組織を株式会社に改め河村電器産業株式会社
となる

1969年：キュービクル式高圧受電設備の製造開始

1988年：コンポーネント構造による分電盤の標準化に成功

1992年：本社・研究開発棟竣工

1996年：上海捷有電子有限公司を設立

1997年：システムラックの製造開始

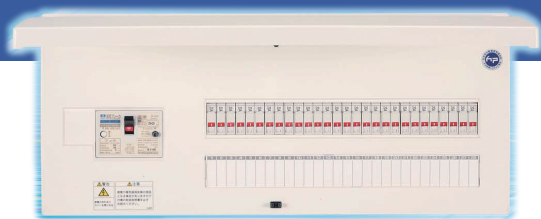
2001年：電力監視モニターの製造開始

2006年：プレトラックコンセントの製造開始

2009年：JECA FAIR2009「ブレードブレーカ」国土交通大臣賞 受賞

2010年：業界最薄ブレードブレーカ搭載「enステーション」の製造
開始

2017年：ホーム分電盤が建築設備技術遺産に登録



研修施設「カワムラキャンパス」

電

気の絶縁器具である碍子（がいし）。「せともの」の産地である愛知県瀬戸市は、碍子製造が盛んな地域でもあります。

今回訪問したのは瀬戸市に本社を置く河村電器産業株式会社様。1919年に碍子配線器具の製造からスタートし、来年創業100周年を迎える老舗企業です。

同社研究開発部の水野浩司部長、吉田見紀開発推進チーム、服部太輔盤開発チームの3氏にお話しいただきました。（文中での敬称は略させていただきます。）



左:水野浩司 研究開発部部长 中:服部太輔 盤開発チーム 右:吉田見紀 開発推進チーム

ホーム分電盤の パイオニア

編集部 100年企業、まさしく老舗ですね。創業時から瀬戸の地で事業をされていらっしゃるのですか。

水野 そうです。瀬戸市は陶磁器の一大生産地ですので、当初は瀬戸市で取れる良質なセラミックを加工してできる端子のほか、カットアウトスロットや、コンセント、電球ソケットなど絶縁器具としての磁器製器具を製造していました。今はキュービクルや分電盤など電気機器が主要な製品ですが、電気の「安全・安心」を支える技術とサービスを提供するという企業理念は創業時から変わっていません。

編集部 なるほど、陶磁器業界と電気機器業界というのは親和性が高いんですね。河

村電器さんと言えばキュービクルのイメージが強いですが。

吉田 1969年にキュービクルの本格生産を始めまして、おかげさまで、いまでは業界トップシェアとなっています。分電盤も歴史が古く、1960年に業界に先駆けてホーム分電盤を開発・販売しています。61年に発売した「ホーム分電函(盤)(BKK-3)」は建築設備技術者協会(JABME、野部達夫会長)の建築設備技術遺産にも認定されているんですよ。

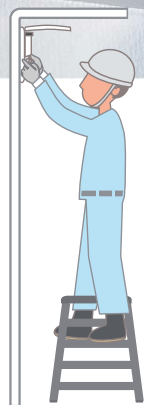


本社外観

ホーム分電盤

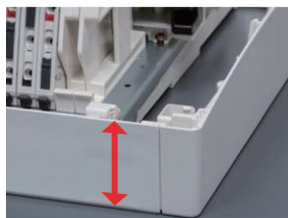
イージー Ezライン

①分岐配線は下からだけで完了します！



頭が天井に
ぶつかることなく
作業ができます。

②広い作業スペースで配線や結線ができます！



弊社従来品

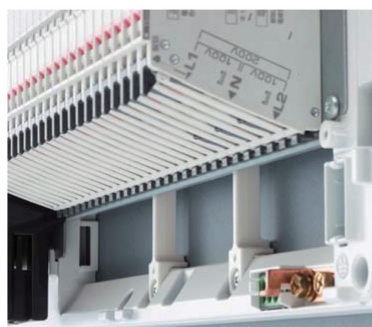
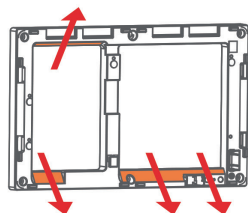


Ezライン

手が当たらずに
作業ができます。

③電線を引き出しやすい工夫があります！

基台の傾斜で
入出線が容易に
なります。



圧倒的な施工性の向上！
ホーム分電盤「Ezライン」

編集部 それでは、ヒットブラ

ンドのホーム分電盤「Ez
ライン」についてお伺いし
ます。どのような製品なの
でしょうか。

水野 全国の電気工事店様よ
り、従来のホーム分電盤で

お寄せいただいたご意見を

もとに改良を重ね、施工性
を徹底的に追求したホーム
分電盤です。また、大幅な
小型化で取付場所の自由度
がアップ、フタ付、フタな
しと豊富なバリエーション
も特長です。

編集部 施工性面での特長につ

いて教えていただけますか。

服部 施工性向上のポイント
は次の3点です。

①分岐配線は下からだけで完了

分岐ブレイカ（最大28回
路）は下段側だけの横一列
配置ですので、天井付近で
手さぐりになりがちな上段
側の配線作業がありません。
下側に広いスペースを確保
出来、配線の余長を収納す
るのも簡単です。

②配線や結線がやりやすい

基台の外壁をカバー側に付

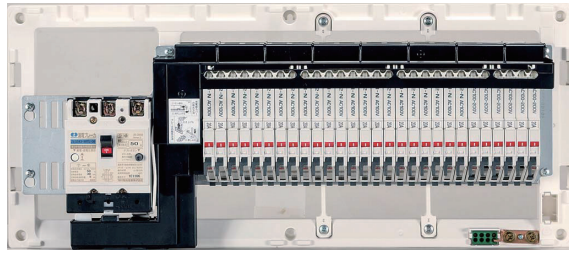
③電線を引き出しやすい工夫

ガタースペースが広く、基
台フレームの下部に傾斜がつ
いていますので、電線をつ
っかけずに入出線出来ます。

けたため、作業スペースを
広くとることが出来、手が
当たらずに効率よく配線や
結線が出来ます。

カワムラならではの 分岐横二列配置

編集部 開発するうえで困難だったこと、技術的に難しかったことはどんなことでしょうか。



服部 筐体設計の立場から言いますと、基台の外壁をカバー側に付けたことです。従来は、基台は囲われていて当たり前、箱状の基台の中に主幹や分岐を収めるという設計でした。施工性を追求した結果、基台は囲わず、フラットにするという発想の転換が難しい部分でした。

吉田 やはり「分岐横二列配置」の発想でしょうか。これまでブレーカでは、ありえない発想でした。横一列にすることで横幅が大きくなったのでは意味がないからです。10mm幅という他社にないブレーカを我々は持つていましたので、施工性を維持しながら、多回路でも横幅を小さくすることが実現できました。

水野 幅10mmは、接続される電線サイズを考えるとこれ以上薄く設計できないサイズです。

編集部 ホーム分電盤のパイオニアである河村電器産業ならではの技術なのですね。具体的にはどれくらい施工時間が短縮されるのでしょうか。

吉田 分岐二列タイプと比較して約40%施工時間を短縮することが出来ます。比較動画をYouTube Tubeにアップしていますので、是非ご覧ください！

施工時間を体感!

Ezラインと分岐二列タイプのホーム分電盤の施工時間を比較した動画をご覧いただけます。
(YouTube:1分)
下のQRコードにアクセス!



<https://youtu.be/WQ-sKaeBWnU>

編集部 「Ezライン」という製品名の由来は?

吉田 施工が簡単という意味の「イージー」(easy)と横一列の線という意味の「ライン」を組み合わせた造語です。「イージー」は表記した時の印象を強めるために「Ez」としています。

大幅な小型化で 設計の自由度アップ

編集部 大幅な小型化も特長というのですが、どのくらいコンパクトなのでしょう。

水野 弊社従来型の分岐二列タイプ(リミッタースペースなし28回路ベース)と比較して、横サイズは40mm小さい510mm、縦サイズは

100mm低い220mmとなつていますので、限られた収納をより広く活用することが出来ます。またドアなどの建具の大型化にも対応でき、設置場所の可能性が広がります。

また、フタ付・フタなしで価格や縦横サイズは変わりますが、設計の自由度は大幅にアップしています。

吉田 最近では、マンションなどでシューズボックス内に分電盤が設置されるケースも増えていますが、そういった狭いスペースでも楽に施工できます。

是非一度、施工性の良さを 体感して下さい!

編集部 電気工事店様へのPRはどのようなことをされていますか。

吉田 広告媒体でのPRの他、当商品の最大の特長である施工性の向上については、実際に触れて体感して頂く

ことが一番伝わりやすいと
考えています。そこで、展
示会ではできるだけ施工体
験もして頂ける機会を設け
るようになっています。

編集部 最後に、本誌読者であ
る電材卸業者様、電気工事
業界に対してメッセージを。

水野 電気工事業界でも人手不
足は深刻な状況で、生産性
の向上や施工性の向上は喫
緊の課題として求められて
います。「Ezライン」は
その課題に対する弊社の一
とつの答えです。当商品の
施工性の良さはかなり自信
を持っていますし、使って
頂いたお客様からは高い評
価も頂いております。

是非一度、実際に体感し
て頂きたいと思っています。ま
た、体感して頂いて、ご意
見やご要望がございましたら、
弊社の営業マンもしくは
はホームページからお伝え
いただけるとありがたいと思
います。

女性の働きやすい職場環境

河村電器産業(株)様は、ワーク・ライフ・
バランスを実現させるため、女性の活躍
推進に向けた様々な先進的取り組みを
行っています。

2014年から大規模な人事制度改革
を行い、トップの意識表明や女性の採
用拡大、管理職登用を進め、2016年
には生産現場でも女性課長が誕生して
います。

2017年には「女性活躍」や「働き方
改革」を推進するため、河村幸俊代表取
締役会長直属の「女性活躍推進委員会」
が設置されました。また、女性の働きや
すい環境づくりのために、出産・育児・子
どもの教育・介護に対する支援を充実さ
せ、各種の認定・認証制度を取得してい
ます。

育児・介護関連の主な取組

- 1歳に達する年度の翌4月末まで
育児休業を取得可能
- 子が小学校就学前まで取得できる
短時間勤務制度、所定外労働の免除
- 配偶者出産休暇(3日間・有給)
- 就業時間の繰り上げ・繰り下げ
- 失効した年次有給休暇積立が、
育児休業、介護休業に最大20日間
利用可能
- 出産祝金制度
- 通算186日間利用できる
介護休業制度(分割も可)



カワムラの イチ推し! ICHIOSHI ご紹介

内閣府が発表した首都直下地震の被害想定では、感震ブレーカー等の設置による「電気関係の防火防止」を行った場合、被害は現状と比較して約1/2に低減。さらに「電気関係の防火防止」と消火器具の保有を合わせて行った場合には約1/20まで減らすことが出来ると言われています。

※平成25年12月内閣府中央防災会議首都直下型地震対策検討ワーキンググループ「首都直下型地震の被害想定と対策について（最終報告）」

横揺れに加えて縦揺れも正確に感知できるカワムラのセンサー式感震ブレーカーは、震度5強相当以上の揺れを感知すると、ランプとブザーでお知らせした後、主幹ブレーカーを遮断して電気の供給をストップします。利用環境に合わせて「遮断までの時間」と「感知する震度」の設定も可能です。

業界最高峰の 高感度センサー搭載 感震ブレーカー

安心01 地震発生直後の火災を防止

電気機器などの転倒による火災を防ぎます。

安心02 復電時の通電火災を防止

いつ起こるか分からない自宅の火災を防ぐため、避難所においても安心です。

安心03 遮断までの時間を設定できる

主幹ブレーカーの遮断までの時間を、即時・1分・3分から選択可能※。夜間避難時の照明の確保や、火元となる恐れのある電気機器への対策につながります。

※「樹脂ケース入り感震リレー」「感震コンセント」は3分で固定です。

安心04 感知する震度を設定できる

感知する揺れの大きさを震度5強・震度6弱から選択可能※。各住まいの耐震対策に合わせた設定により、不要な電気の遮断を控えることができます。

※「樹脂ケース入り感震リレー」「感震コンセント」は震度5強相当以上で固定です。

安心05 生活振動で作動しない※

感知した揺れが地震か生活振動かを高精度で見分けるカワムラ独自の技術「EQDアルゴリズム」により、ドアの開閉やトラックの通過などによる反応を抑えます。

※建物の修繕工事などで発生する大きな振動によって、稀に作動する場合があります。

新築

ホーム分電盤の設置をお考えの場合

分電盤タイプ **内蔵型**

太陽光・EVに対応
戸建住宅向け

enステーション



2段階遮断タイプ

HEMS・ZEH対応
スマートハウス向け

EcoEye



HEMS連携タイプ

圧倒的な小型
集合住宅向け

Ezライン



既築

感震ブレーカー機能のないホーム分電盤がすでに設置されている場合

コンセントタイプ

分電盤タイプ **後付型**

ピンポイント対応
熱源電気機器向け



機能追加に対応
既設ホーム分電盤向け



樹脂ケース入り感震リレー

漏電ブレーカー付
感震リレー

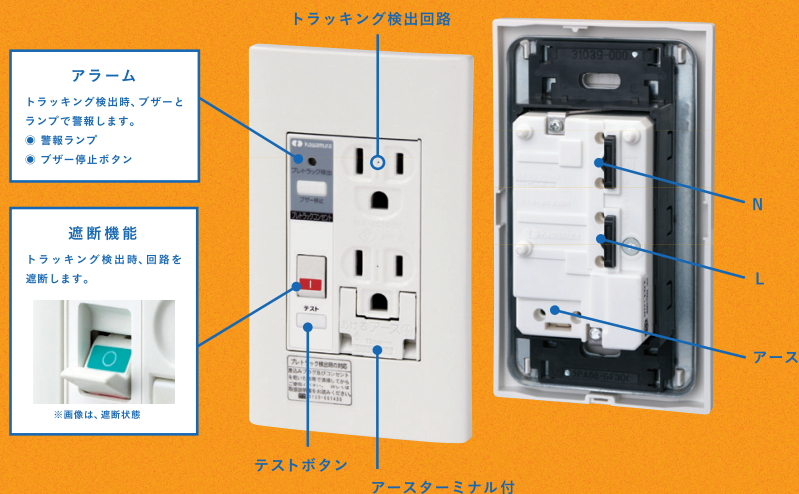


新築・リフォーム・地震対策の強化に！
カワムラの感震ブレーカーラインナップ

プレトラックコンセント

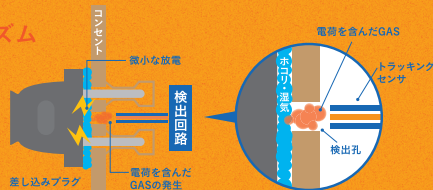
■プレトラックコンセントとは

微小な放電電流を検知！トラッキング現象を確実に防止します。



■トラッキング現象の検出メカニズム

トラッキング現象は、差し込みプラグ間の微小な放電により“電荷を含んだGAS”が発生します。トラッキング検出回路が、そのGASを検出孔を通じて検知。トラッキング現象の初期段階で、電気を自動的に遮断します。



長期間、コンセントにプラグを差し込んだままにすると、プラグの周辺にほこりが溜まります。溜まったホコリに湿気などが付着することで、プラグの刃の両極間に微小な放電（シヨート）が繰り返されます。ついには差込みプラグの絶縁状態が悪くなり、発熱、最悪のケースでは差込

みプラグより発火に至ります。このトラッキング火災はいつおこるかわからず、夜間や不在の時に発生した場合、発見が遅れ思わぬ被害になる場合があります。

一般財団法人日本消防設備安全センターの消防防災の推奨製品としても認定、奈良の薬師寺や京都の建仁寺などの文化財にも設置されています。

宅配ボックス RUSUPO (ルスポ)

ネットショッピング等の利用頻度が増え、集合住宅では「宅配ボックス」の設置が急務です。
カワムラの「RUSUPO」は屋内・屋外兼用で自立設置

置のため、設置場所での悩みにお役立ていただけます。エントランスから軒下、屋根のない場所など敷地内の有効スペースを活かして取り付

また、100年近く住宅用・産業用の様々な場所に使われる電気機器類を守ってきたカワムラのキャビネット技術を活かして作られており、高い防水性（IPX4相当）、防錆性（ステンレス製）、堅牢性（耐風圧・風速40m/s）が自慢。お届けされた荷物を大切に保管します。

